

平成30年度年報



【平成30年6月 大沼自然豊かな森づくり協議会と一般公募のボランティアによる植付
(七飯町吉野山国有林)】

森林ふれあい推進センターは、

国有林野を活用し、自然再生や生物多様性の保全に取り組むNPOや森林環境教育に携わる教育関係者等の活動を技術的に支援する組織として、平成16年4月に設置されました。



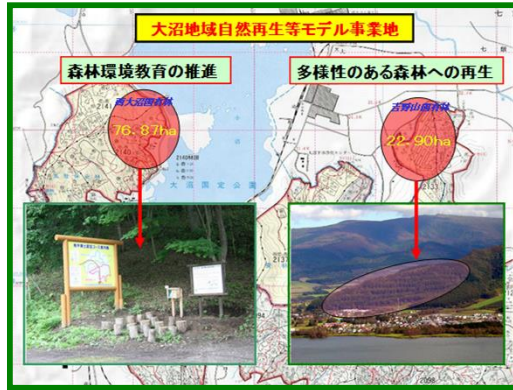
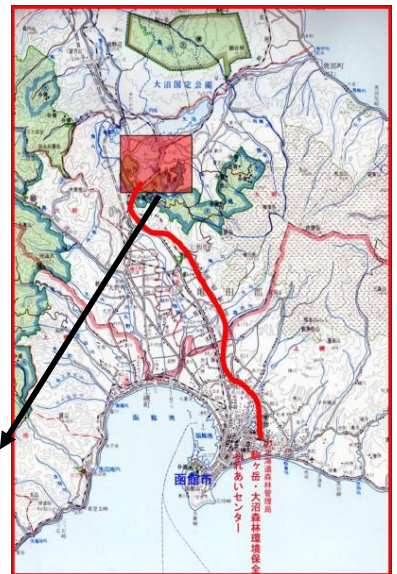
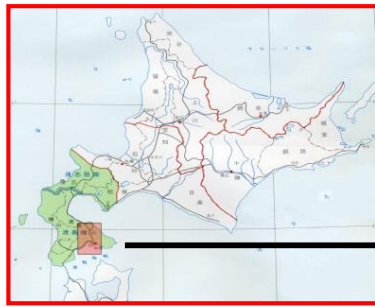
林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

大沼地域自然再生等モデル事業の取り組み

モデル事業地は、大沼国定公園エリアに所在し、漁業関係者から水質保全、観光関係者から景観の維持向上、自然保護関係者から鳥獣生息環境の維持向上等が強く求められているなど、環境保全や森林整備に係る関心や期待の高い地域となっています。

このため、モデル事業の推進について、自然保護関係者や民間ボランティア団体等の代表者で構成する検討委員会を開催し、モデル事業地の箇所を選定、森林の取り扱い、事業の推進方法等についてのグランドデザインを作成するとともに、地域等が大沼地区の国有林に求めているニーズをモデル事業に反映するよう努めることにしています。

「大沼地域自然再生等モデル事業」は、地域住民等と連携し、**「多様性のある森林への再生」**と当該地及び近接地において**「森林環境教育の推進」**を主とし、取り組むこととしています。



- ＝ 検討委員会 ＝
- 平成16年度
グランドデザイン作成ために
3回実施。
 - 平成17年度～平成26
年度「グランドデザイン」に
基づく事業内容の検証
及び検討のため年に2回
実施。
 - 平成28年12月
役割の一部を「大沼自
然豊かな森づくり協議
会」に継承して終了。

☆「大沼自然豊かな森づくり協議会」の開催

平成31年3月5日（火）、南北海道大沼婦人会館（七飯町）において、平成31年「大沼自然豊かな森づくり協議会総会」を開催しました。平成30年度の実行内容、平成31年度の計画等について事務局から提案の後、検証等の討論を行いました。委員からは「植生観察会での調査結果をまとめた」「吉野山での森づくりが環境教育を推進する場所となれば良い」等、行事参加者増や環境教育の場としての活用などについて活発な論議が行われ、これからも協力・連携を図り取り組むことを確認し総会を終了しました。

★当協議会は、大沼地域自然再生等モデル事業のグランドデザインに基づき、森林の再生活動を行うことを目的として平成17年4月に組織されたものです。

協議会の様子（平成31年3月5日）



協議会参加団体等名
大沼漁業協同組合
大沼町内会連絡協議会
大沼の水を考える会
北海道国際交流センター
北方森林鳥類調査室クマケラ研究会
函館地方国有林退職者緑の募金推進協議会
21世紀の道南の森林づくり事業実行委員会
個人会員及び関係行政機関

☆ 多様性のある森林への再生

大正14年植栽ドイツトウヒ人工林と昭和56～58年植栽トドマツ人工林、及び昭和27年度植栽カラマツ人工林の22.90haの森林を、地域ニーズを踏まえた生物・水質・景観など多様性のある森林へ誘導します。【具体的には、周辺の天然林を参考とした森林へと育成します】



「多様性のある森林への再生」箇所において、様々な取り組みを行っています。平成30年度の主な実施内容は、次のとおりです。

「カミネッコンによる植付作業」の実施

平成30年6月16日（土）、大沼自然豊かな森づくり協議会及び一般公募のボランティア総勢24名により、カラマツ人工林の上層木がまばらな箇所へ、カミネッコンによるミズナラ、イタヤカエデ、ヤチダモ、ナナカマド、アオダモなどの植付けを行いました。

※カミネッコンは再生紙や古紙で作ったリサイクルポットです。

当日は時折日差しがさす中、カミネッコンを組み立て、苗木をカミネッコンに移植、予定した約150個を作成し現地へ植付けました。最後に植えたカミネッコンに水やりと昨年植付けた箇所の下刈を実施し終了しました。





「国際ワークキャンプ」の受け入れ

「国際ワークキャンプ」とは、世界中から集まった若者が一緒に生活しながら、「森林の手入れ」、「動植物の保護」、「有機農業の支援」、「学校の建設」など地域での環境ボランティア活動を行う「国際ボランティアプロジェクト」で、世界約100か国、約3,000箇所で行われています。日本では国際ボランティアNGOのNICE（ナイス）が「国際ワークキャンプ」の企画、運営、参加者の募集等の事務を行います。日本各地に協力団体があり、北海道では函館市にある「北海道国際交流センター」が受皿団体になっています。

当ふれあいセンターでは、吉野山国有林（七飯町字大沼）で実施している「大沼自然再生等モデル事業」において、自然再生等への取り組みの一環として、各種森林ボランティア活動の機会を提供しています。今年、イタリア、マカオ、メキシコ、ドイツ、セルビア、ロシア、フランス、カンボジア、日本など9カ国、17名の20代を中心とした若者が参加し、7月24日から9月12日までの中で、10日間、地拵、植付、下刈、ポット苗づくり、作業道修理などの作業をサポートしていただきました。

概要説明



作業終了後、集合写真



地拵・植付作業



下刈作業



作業道の水切り作業



吉野山森林植生観察会の実施

自然再生の取り組みが始まってから10年が経過したことから、主に下層植生の変化（変遷）を観察するため、「植生観察」を実施しました。（春季-雨のため中止、秋季10月13日）大沼自然豊かな森づくり協議会のメンバーと一般公募によるボランティア総勢28名の参加があり、ミズヒキの花やムラサキシキブの実などを観察・調査しました。

秋季
10月13日



観察会の様子



ミズヒキの花



チョウセンゴミシの実



ムラサキシキブの実



サンショウの実

☆ 森林環境教育（樹木博士認定会）の推進

西大沼国有林の**樹木博士認定常設コース**（平成16年10月オープン）を拠点とし、森林に対する関心と理解の醸成を図る活動を実施しています。

具体的には、森林環境教育の指導者の養成等のための**樹木博士認定会**の開催や研修会等を実施し、森林環境教育を推進します。また、多様性のある森林への再生活動（吉野山国有林）においても森林環境教育を実施することとしています。



樹木博士認定常設コース



常設コース看板



認定会の様子

樹木博士認定会とは

樹木の名前や識別方法を学習した後、樹木名を答える試験を行うもので、それをきっかけとし、森林に親しんでもらうことを目的とした森林環境教育（アウトドア活動プログラム）のひとつです。

樹木博士認定コース

子ども樹木博士認定活動推進協議会（平成12年設立）のプログラムを採用し、平成16年には、この活動を地域に広めることと森林環境教育に関する指導者の養成を図るための活動の拠点として、誰でもいつでも利用できる「**常設コース**」を大沼国定公園内の西大沼国有林（七飯町）に開設し、対象者を子ども達だけではなく一般にも広げ、毎年6月から9月の第一日曜日に**定期開催**しています。



樹木博士認定コース案内板

進め方

1時間程度の樹木の説明を受けた後、樹種名（20～30種）を答える試験を行い、成績に応じて段級（**最高位は10段**）を決定し、認定書を授与します。



樹名板

認定書

コース概要

- ◆ コースの距離 事前学習コース [450 m]
テストコース [390 m]
周 遊コース [2,050 m]
- ◆ 試験 樹 種 46種（ブナ・ミズナラ・スギなど）



左写真はセンターで作成した「樹木ガイドブック／全70ページ」（平成23年3月発行）

このガイドブックにより、樹木の説明を行います。



平成30年度の樹木博士認定会の取組については、公募により6月・7月・8月・9月の4回を計画し、雨のため中止となった7月の第2回を除く3回の定期開催を実施しました。

また、より多くの挑戦者の参加を期待して、函館市教育委員会で取り組んでいる生涯学習講座「HAKODATEまなびっと広場」に参画し、選択科目の一つとなっています。

定期開催の結果の内容等については、次のとおりです。

第1回開催（西大沼）



第2回雨天中止 下は常設コース位置図



第3回開催（西大沼）



第4回開催（西大沼）



本年度の定期開催の参加者は延べ34名で、3回分としては例年と変わらず、今年も参加者数が伸び悩んでいることから教育機関等への働きかけをすると共に他のイベントやホームページでPR活動を行っていきます。

● 定期開催結果

回数	認定会日時等	参加者	内 訳
第1回	6月 3日（日） 10：00～12：30（西大沼）	15人	子供 1、大人 14
第2回	7月 2日（日） 10：00～12：30（西大沼）	中止	子供 、大人
第3回	8月 5日（日） 10：00～12：30（西大沼）	5人	子供 0、大人 5
第4回	9月 2日（日） 10：00～12：30（西大沼）	14人	子供 3、大人 11

● その他開催

森への誘い講座・江差北小グリーンスクール・放課後児童クラブ・職場体験	77人	子供58、大人19
------------------------------------	-----	-----------

● 樹木博士認定状況

30年度末 累計	2,575人（平成12年度の旧函館分局から行ってきた合計です）
----------	---------------------------------

☆ 自動撮影装置による野生動物調査

当センターでは、大沼周辺(七飯町)の森林における野生動物(中大型哺乳類等)の生息調査を実施しています。

- 調査目的・・・野生動物の生息状況を長期的に記録し、その変化と環境の変化とのかかわりを研究する。
- 調査方法・・・自動撮影装置(カメラ)による撮影
(赤外線センサーに反応する動物を撮影)
(平成26年度よりデジタルカメラを導入)
- 調査時期・・・年2回(夏、秋)、3週間連続で実施

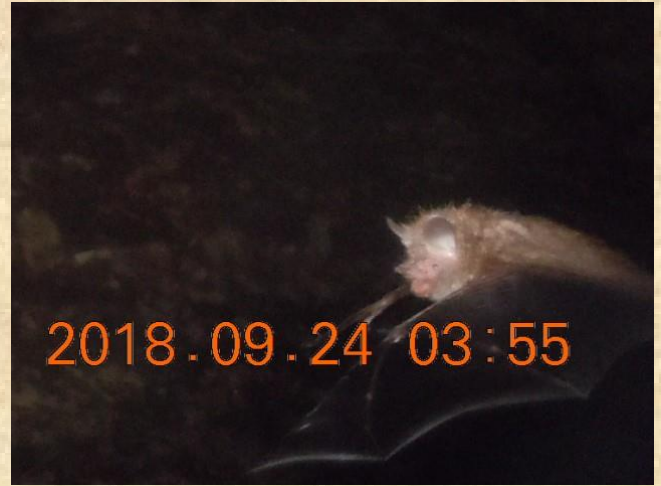
自動撮影カメラの設置



PHOTO



タヌキ



コウモリ



ニホンテン



エゾシカ



ヒグマ



キタキツネ

☆ 森林づくり塾2018 開講

目的

森林の役割や森林づくりの基礎を学び、実際の森林作業を体験することにより、森林作業の技術の習得、また、森林の中での楽しみ方を体験し、理解を深め、森林ボランティア作業への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材の育成を目的としています。

「森林（もり）づくり塾」の取り組みは今年で12年目となります。公募を行った結果、函館市や近郊の市町村などから15名の参加があり、今年も渡島総合振興局東部森林室主催の「森への誘い講座」と連携して実施しました。「森林づくり塾」は森林作業を中心とした6回の講座で、そのうち「森への誘い講座」の1講座を共同開催として組み込み、ほかの2講座にも参加可能として、全8回の講座に参加をしています。

第1回講座

第1回は、5月20日（日）、駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センターで開講式とポット苗づくり、マイ箸づくりを体験しました。開講式、安全対策について学んだあと、ミズナラ・アオダモなど大沼周辺から採取した小さな苗をビニールポットに植えるポット苗づくりを体験、これは第6回の植付体験に使用します。最後にマイ箸づくりを体験し終了しました。



第2回講座

第2回は、6月17日（日）、「森への誘い講座」との共同開催で20名が参加し七飯町カリマ国有林で下刈作業を実施しました。当日は曇りの涼しい気温の中、鎌の安全な使い方を学習したあと、トドマツの造林地で苗木を傷つけないように作業を行いました。また、昼食後には鎌研ぎを実施し、午後の作業で切れ味を試していました。



第3回講座

第3回は、8月8日（水）、渡島総合振興局東部森林室の「森への誘い講座」と「森林づくり塾」が共同で横津岳登山を開催しました。併せて29名が参加して横津岳から烏帽子岳へ向かう行程で、ウッドチップをみなさんと運び登山道整備も実施しました。当日は霧のかかる天候でしたが、エゾオヤマリンドウ、ハナイカリなどたくさんの花などを観賞していました。



第4回5回講座

第4回、第5回は、間伐（除伐Ⅱ類）体験を予定していましたが、ともに、悪天候により残念ながら中止となりました。

第6回講座

第6回は、10月14日（日）、七飯町吉野山国有林で「森への誘い講座」の受講生も含め23名が参加して、カミネッコンによる植付作業を実施しました。

当日は風もない晴れの良い気候の中、カミネッコンの組み立てに手間取りながらも、ミズナラ、イタヤカエデなど約200本を植付けることができました。



「森への誘い講座」への参加

7月18日（水）、渡島総合振興局東部森林室の「森への誘い講座」新中野ダム見学に塾生が参加しました。新中野ダムでは、市民を洪水から守り、市民の水がめとして活用されるダムの働きなどについて、説明を受けてからダムの堤体内部の通路を見学、トンネルのような内部は上着がほしいくらいの涼しさで、途中には斜めに動くエレベーターもありました。そのあと浄水場を見学、なかなか見る機会が無いので、貴重な体験となったようです。



「森への誘い講座」への参加

10月24日（水）、渡島総合振興局東部森林室の「森への誘い講座」森からの贈り物と題した、キノコの生態学集と散策に塾生が参加しました。道南四季の杜公園の里の舎（いえ）で、函館キノコの会の石垣さんが講師となり、食用キノコの栄養、調理法、健康食としての働きまで、多様なキノコの魅力が伝わる講義内容でした。午後からは、公園内の森林でキノコを探しながら散策、発見したキノコの名前や、生えている環境など丁寧な説明があり、キノコ探しを楽しみながら熱心に聞いていました。



☆ 森林環境教育

🌲 はこだて花と緑のフェスティバル2018に参加

6月9日（土）10日（日）、はこだてグリーンプラザ（函館市松風町）で「はこだて花と緑のフェスティバル2018」が開催されました。

当ふれあいセンターでは、自然再生モデル事業、森林環境教育の取組、花や動物の写真を「パネル展示」で紹介したほか、同じ樹種の輪切り板を2枚ずつ用意して、組み合わせる神経衰弱と「木工体験」としてマイ箸づくり体験を行いました。



🌲 放課後児童クラブで森林教室を開催

7月24日（土）、函館市末広町の放課後児童クラブで森林教室を開催しました。

当日は函館山で樹木の見分け方や樹高の測り方を実施予定でしたが、あいにくの天気のため、放課後児童クラブで実施となりました。11種類の樹木の枝葉を持ち込み、樹木認定会を実施、「クロマツの葉は触るとチクチクします」「クサギの葉は臭い」などの説明に、手にとって「本当だチクチクする」「臭い」また、「良い匂い」など感じ方は色々でしたが、みなさん熱心に聞いていました。試験では「何だっけ」と苦労していた児童もいましたが、結果は7割の人が初段と好成绩でした。最後に葉っぱの万華鏡をみんなで作り森林教室を終了しました。



🌲 青森県の中学生が職場体験学習

8月28日と29日の2日間、青森県下北郡風間浦村の風間浦中学校から女子生徒が1名、当センターで職場体験をしました。風間浦中学校では、総合的な学習の時間に、函館で自分の希望する職場体験をして、望ましい職業観などを養うことを目的として実施しています。初日は植付体験の準備としてカミネッコンづくり、マイ箸づくりを体験しました。翌日は植付場所を刈り払う地拵と昨日作成したカミネッコンの植付、下刈、樹木博士認定会、保育間伐などを体験。「森林は何年も前の人が育てたもの、大事にしたい」と感想をいただきました。





檜山森林管理署主催「グリーンスクール」に協力

9月13日（木）、檜山署主催の「江差北小学校グリーンスクール」が砂坂海岸林で開催され、当センターは5・6年生を対象に子ども樹木博士認定会を実施しました。

最初に「どんぐりの実がなるコナラ、ミズナラ、カシワの葉はギザギザや葉柄の長さが違う」など、12種類の樹木について学習、試験では小学生にはなじみのない樹種もありましたが、満点や高得点の子もたくさんいました。後日、子ども樹木博士認定書を授与しました。



渡島東部森林室主催「森への誘い講座」を支援

渡島総合振興局東部森林室主催の「森への誘い講座」への支援として、5月25日（水）開講式において国有林の概要についての講演、6月6日（水）七飯町（西大沼国有林）の樹木博士認定常設コースにおいて樹木博士認定会を開催しました。樹木博士認定会では、トチノキやシウリザクラ、ホオノキなど、春に花が咲く樹種が多く、みなさん花に癒やされながら初夏の認定会を楽しまれていたようです。



函館市駒場小学校の校庭で森林教室

9月26日（水）と27日（木）、駒場小学校の校庭に植栽されている樹木の特徴などを学習する森林教室を実施しました。1日目は2年生38人、2日目は1年生32人が約1時間半にわたり学習しました。クリの葉の特徴を紹介すると「ほんとだ、トゲがある」、ニオイヒバでは「良いにおい」「変なにおい」など、感じ方はいろいろですが、みなさん五感を使い木の特徴を感じていました。ホオノキの大きな葉と真っ赤な果実にくぎ付けになり、「なんでくさいの」「クリの実、生で食べられるかな」「この虫はなに」など、質問攻めもありましたが、元気いっぱいの生徒に囲まれ楽しい森林教室となりました。



平成30年度の活動一覧

年月日	曜日	実施内容
H30. 5.25	水	東部森林室「森への誘い講座」への支援(東部森林室で講演)
H30. 5.20	日	第1回森林づくり塾(函館事務所)
H30. 5.30	水	韓国山林庁視察者への講演(函館事務所)
H30. 6. 1	金	「函館大学附属柏稜高等学校 永久の森づくり」下刈作業を支援(カリマ国有林)
H30. 6. 3	日	第1回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H30. 6. 6	水	東部森林室「森への誘い講座」への支援(西大沼国有林で樹木博士認定会開催)
H30. 6. 9	土	はこだて花と緑のフェスティバル2018に参画(函館市)
H30. 6. 10	日	はこだて花と緑のフェスティバル2018に参画(函館市)
H30. 6.16	土	大沼自然豊かな森づくり協議会の植付作業(吉野山国有林)
H30. 6.17	日	第2回森林づくり塾(軍川国有林)
H30. 7. 3	火	(~H30.7.24)野生動物自動撮影調査(カリマ国有林等)
H30. 7. 7	土	放課後児童クラブで森林教室開催(函館市)
H30. 7.18	水	「森への誘い講座」への参加(函館市)
H30. 7.24	火	(~H30.9.12)国際ワークキャンプ(吉野山国有林等)
H30. 7.27	金	五稜郭保安林清掃作業支援(函館市)
H30. 8. 5	日	第3回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H30. 8. 8	水	第3回森林づくり塾(横津岳)
H30. 8.28	火	(~H30. 8. 29) 青森県の中学生が職場体験学習(吉野山国有林等)
H30. 9. 2	日	第4回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H30. 9. 4	火	(~H30.9.25)野生動物自動撮影調査(カリマ国有林等)
H30. 9.13	木	江差北小学校の森林教室「グリーンスクール」で樹木博士認定会(砂坂国有林)
H30. 9.26	水	駒場小学校で森林教室開催(函館市)
H30. 9.27	木	駒場小学校で森林教室開催(函館市)
H30. 9.30	日	道民森づくりネットワークの集い(札幌市)
H30.10.13	土	秋季吉野山森林植生観察会(吉野山国有林)
H30.10.14	日	第6回森林づくり塾(吉野山国有林)
H30.10.24	水	「森への誘い講座」への参加(道南四季の杜公園)
H31. 3. 5	火	大沼自然豊かな森づくり協議会を開催(南北海道大沼婦人会館)

主な活動実施区域



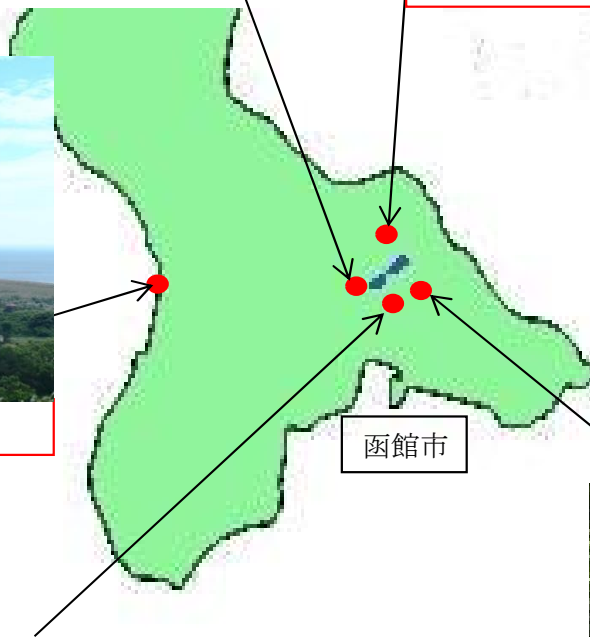
西大沼 (にしおおぬま) 国有林



駒ヶ岳 (こまがたけ) 国有林



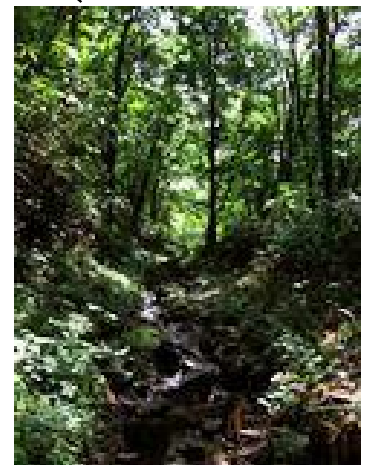
砂坂 (すなさか) 海岸林



函館市



吉野山 (よしのやま) 国有林



カリマ国有林

国有林は「国民の森林」です。皆さま方からのご意見ご要望等をお待ちしています。

林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

〒042-8550 北海道函館市駒場町2-13
TEL 0138-51-0381
FAX 0138-51-8908
E-mail h_koma_f@maff.go.jp